

## 第2学年1・2組 保健体育科学習指導案

指導者 高田和典

### 1 単元名 ソフトボール（球技：ベースボール型）

#### 2 単元について

- (1) ソフトボールは、相対する2チームが攻撃と守備を規則的に交代し、一定の回数内でより多くの得点を競い合うベースボール型の球技である。また、ゴール型やネット型に比べ、個人の技能によって勝敗が左右されやすいため、ボール操作やバット操作を確実に習得させることによってより攻防の楽しさを味わうことができ、生涯にわたって楽しむことができるようになると考えられる。また、グローブやバットなど道具を使うスポーツなので、ボールを投げたり、捕ったり、打ったり、走ったりと、さまざまな身体能力が求められ、筋力や巧み性、瞬発力などの体力を高めることができると同時に、大きい打球や強い打球を打つことに醍醐味があり、打つことによって得点した時の喜びを通して、より楽しさを感じることができる。また、得点を競い合う中で得点を取らせない守備によって、出塁や進塁を防ぐことができた時の喜びも大きい。攻防がはっきり分かれている点から、球技の中でも作戦を工夫しやすく練習が試合で生きやすい種目である。これらのことから、バット操作から走塁、ボール操作とボールを持たない時の動きなどのつながりや、チームで必要な練習や作戦を工夫するために話し合うことでチーム内のつながりを高めることが不可欠であり、協働性を身に付けることができる単元である。
- (2) 2年1・2組男子は、計22名である。1年次には、球技のネット型としてバレーボールとゴール型としてサッカーを学習してきた。ベースボール型のソフトボールの授業は初めてではあるが、野球部員が11名おり、その他の生徒も興味・関心は高い。ただ、半数の生徒は、グローブやバットを持ったことがない生徒で、ルールについても知らないのが現状である。
- (3) そこで、指導にあたっては、以下の点に留意したい。
- ① 基本動作の習得には、練習の場を多く設け、チームで教え合いながら、投げる、捕る、打つなどの動作を学ばせたい。
  - ② 1チームを4人から5人の少人数のチーム編成とし、少人数で活動させることで、全員が練習やゲームに積極的に参加できるようにする。
  - ③ 試合では、打撃練習①、打撃練習②、攻撃、内野中心、外野中心をローテーションさせて行うことで、ゲームと練習につながりをもたせ、チーム全員が攻防を楽しむことができるようにする。
  - ④ 練習では、まず打つ醍醐味を味わわせるために、打つ練習場所と時間を多く設定するとともに、2アウトチェンジ制のゲームとして、守りの時間を少なくするなどルールを工夫する。

### 3 学習指導計画 . . . . . 12時間（全配当時間）

- (1) 基本技能習得（投げる、捕る、打つ） ゲーム形式 . . . . . 8時間
- (2) ゲーム 打撃練習 基本技能習得 . . . . . 4時間（本時1／4）

4 本時の学習指導

(1) 目標

- ① バットの芯でとらえることができる。
- ② チームでアドバイスをしあい打撃練習やゲームをすることができる。
- ③ 学習課題を常に意識して、練習に取り組むことができる。

(2) 学習指導過程

居場所感に関わるもの：◎、夢中に関わるもの：☆

学習内容及び学習活動	教師の指導上の留意点及び支援の工夫
1 体幹ウォーミングアップとキャッチボール、トスバッティングを行う。 2 バットの芯の存在や場所を知る。 3 学習課題を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実戦を想定した効果的な体幹ウォーミングアップに取り組ませる。キャッチボールは、ゲームをイメージさせてゴロ処理やフライ処理も行わせる。</li> <li>・ バットの芯の存在に気づかせるために、前時の授業で手が痛かったと書いていた生徒の話をする。</li> <li>・ バレーボールを使ったトスバッティングを行わせ、バットの芯の場所を、手ごたえでつかませる。</li> </ul>

## バットの芯でとらえられるか？

4 打撃練習とゲームをする。

(1) 打撃練習に取り組む。

運動場

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 素振り</li> <li>・ 置きティー</li> <li>・ ティーバッティング</li> <li>・ トスバッティング (バレーボール)</li> <li>・ トスバッティング (ソフトボール)</li> <li>・ バッティング</li> </ul> | 雨天時：体育館<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 素振り</li> <li>・ 置きティー (スポンジボール)</li> <li>・ サンドティー</li> <li>・ トスバッティング (バレーボールや黄色い柔らかいソフトボールなど)</li> </ul> |
|---|--|

(2) ゲームを行う。

- ・ 攻撃
- ・ 守備 (内野中心)
- ・ 守備 (外野中心)

- ☆ トスバッティングで5本中何本バットの芯でとらえられたかを打った時の手ごたえをもとに数えさせる。
- ☆ チームでアドバイスしあいながら練習させる。
  - ・ 芯でとらえるための手立てとして練習方法を選択させる。
  - ・ 声を出してリズムをカウントさせ、タイミングをとらせる。タイミングはテークバックを取りながら「1」でトップの位置 (リリース時)、「2」でインパクトのタイミングでカウントさせる。
  - ・ バットの芯に印をつけたバットを使うことで、しっかりとボールを見る意識をもたせる。
- ◎ ゲームの中でのバッティングに対してチームメイトで課題を話し合わせて、打撃練習につなげさせる。
- ◎ 打ったコースや高さがどこであったかやインパクトの位置がどこであったか、芯でとらえられていたかもチームメイトで判断し合って互いの技術を高めるようにさせる。

評価【思考・判断・表現 (ワークシート)】

- B:** バットの芯でとらえようとインパクトを意識したり、バットの出し方を工夫したりできる。
- C** 実際に、打った時の手ごたえやチームメイトのナイスバッティングという声かけで何スイング中何本芯でとらえられたかをカウントしながら練習させる。

5 本時の振り返りをする。

- ・ 本日の練習やゲームで芯でとらえたバッティングができたか振り返らせ、次時への課題をもたせる。

6 次時の活動を知る。

- ・ 次時は、芯でとらえるためにバットの出し方をより工夫する学習を進めることを伝える。